

平成 27 年度 宮津まちづくり会議 事業報告について

1 会議等の開催

(1) 宮津まちづくり会議の開催

日 時	内 容
<p>第 9 回宮津まちづくり会議 〔平成 27 年 6 月 16 日 (火)〕</p> 	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○委員の承認について ○平成 26 年度事業報告について ○平成 27 年度事業計画について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営マネージャーの募集状況について ○地域振興拠点実現に向けた検討体制について ○5 月宮津満腹祭の実施結果について ○情報開示について
<p>臨時宮津まちづくり会議 〔平成 27 年 8 月 4 日 (火)〕</p>	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営マネージャーの選考中止について ○今後の取りまとめの方向性について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○7 月宮津大満腹祭の実施結果について
<p>第 10 回宮津まちづくり会議 〔平成 27 年 11 月 19 日 (木)〕</p>	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「浜町エリア及びその周辺エリアの活性化に向けて」報告書(案)について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告書の提出等について ○報告書後の動きについて
<p>第 11 回宮津まちづくり会議 〔平成 28 年 2 月 10 日 (水)〕</p>	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後の宮津まちづくり会議に関する事業の方向性について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅パンフレット、宮津ピント会パンフレットの紹介 ○農水商工観連携会議の動き

(2) ワーキングの開催

①浜町及び浜町周辺まちづくりワーキング

日 時	内 容
第 9 回ワーキング 〔平成 27 年 6 月 24 日 (水)〕	○既存市街地の各エリアにおける理想像を考えよう ／キーワードを探そう
第 10 回ワーキング 〔平成 27 年 8 月 28 日 (金)〕	○地域振興拠点を念頭に、既存市街地の在り方を再 確認するとともに、その実現に向けた戦略を考え る
第 11 回ワーキング 〔平成 27 年 9 月 25 日 (金)〕 	○地域振興拠点を念頭に、これまでの議論をベー スにしながら、浜町地区～既存市街地～駅前（L字 型）の回遊性・連携を図るためには、どのように 具体的戦略（連携等）が必要かを深めていく

②事業化ワーキング

日 時	内 容
第 2 回ワーキング 〔平成 27 年 6 月 5 日 (金)〕	○5/2 満腹祭に出店された方から、気付かれたこと、 課題点の共有 ○次回宮津大満腹祭開催（7/20）に向けたプラン作 成
第 3 回ワーキング 〔平成 27 年 9 月 2 日 (木)〕	○7/20 満腹祭の結果及び分析、課題の報告 ○次回開催（9/19）に向けた目標設定 ○キラーコンテンツの開発・機運づくり（報告及び アイデア出し） ○空きテナント等の活用について（アイデア出し）

2 賑わい創出に向けた基本構想の宮津市等への提言

- 平成 27 年 11 月に、各関係機関（京都府・宮津市など）
へ提出
- 併せて、記者会見（平成 27 年 11 月 24 日（火）実施）
や商店街に対する説明会（平成 27 年 11 月 29 日（木）
実施）を開催し、市民や市内事業者に広く周知を行っ
た。



3 地域振興拠点実現に向けた検討・具現化に向けた取組

(1) 実証実験「海の京都の台所 宮津満腹祭」等の実施

① 「海の京都の台所 宮津満腹祭」の開催

日 時	内 容
<p>5月「海の京都の台所 宮津満腹祭」 〔日時：平成27年5月2日 (土) 9時～15時／場所：宮津まごころ市周辺・観光交流センター周辺〕</p>	<p>○目的：大型連休における来場者の居住地域や消費動向調査 宮津産農水産物の販売及び飲食メニューの提供</p> <p>○出店者数：23店舗</p> <p>○来場者数：約2,500人</p> <p>○総売上：約150万円</p> 
<p>7月「海の京都の台所 宮津満腹祭」 〔日時：平成27年7月20日 (月) 9時～15時／場所：宮津まごころ市周辺・島崎公園～海辺〕</p>	<p>○目的：宮津・丹後の「食」をメインとした店舗展開 体験型コンテンツの実施・強化 公園・海辺への回遊性の確保</p> <p>○出店者数：26店舗</p> <p>○来場者数：約2,500人</p> <p>○総売上：約150万円</p> 
<p>9月「海の京都の台所 宮津満腹祭」 〔日時：平成27年9月19日 (月) 9時～15時／場所：宮津まごころ市周辺・島崎公園〕</p>	<p>○目的：宮津・丹後産の「ほんまもん」（地元飯やA級品）をメインとした店舗展開 体験型コンテンツの実施・強化 不足する商材を近隣市町から確保</p> <p>○出店者数：22店舗</p> <p>○来場者数：約3,000人</p> <p>○総売上：約175万円</p> 
<p>11月「海の京都グルメ合戦～宮津浜町の乱～ feat. 宮津満腹祭」 〔日時：平成27年11月1日 (日) 9時～15時／場所：宮津まごころ市周辺・観光交流センター周辺・浜町平面駐車場〕</p>	<p>○目的：海の京都エリアの「食」（ご当地グルメ）メインとした店舗展開 来場者参加型イベントによる、滞在時間の延長及び集客効果の検証</p> <p>○出店者数：22店舗</p> <p>○来場者数：約5,000人</p> <p>○総売上：約210万円</p> 

②宮津まごころ市月例祭との連携企画

日 時	内 容
トマト祭～プチ満腹祭～ 〔日時：平成 27 年 6 月 20 日（土）、21 日（日）9 時～17 時〕	○テーマ：宮津産トマトを活用したメニューの提供 ○出店者数：13 店舗（各日） ○来場者数：約 1,200 人 （2 日間合計） 
プチ満腹祭 night 〔日時：平成 27 年 7 月 19 日（日）17 時～21 時〕	○テーマ：夜の賑わい創出 ○出店者数：4 店舗 ○来場者数：約 300 人 
歳末まごころフェア 〔日時：平成 27 年 12 月 19 日（土）、20 日（日）、28 日（月）、29 日（火）9 時～14 時〕	○テーマ：歳末、冬季商材の提供 ○出店者数：11 店舗（19 日）、5 店舗（20 日・28 日・29 日） ○来場者数：約 2,000 人 （4 日間合計） 

③市民・事業者向け、浜町の賑わい創出の機運づくり

- 満腹祭開催時に浜町で購入した野菜などを、市街地の既存飲食店で調理してもらえる企画や商店街の方の満腹祭への出店などを実施した。
- 観光交流センター周辺の多目的広場等を活用した恒常的な賑わいを創出している。（12 月から開始／実績：37 件）



④地域資源を活用したキラーコンテンツの開発

- 満腹祭出店事業者と協力し、宮津産のモノを活用した新メニューを提供し、来場者のニーズ調査を実施した。

（2）アンケート調査等の実施

- 今後、宮津市街地の核となる地域振興拠点の整備に向け、来場者の消費動向や商圈調査などのマーケティングを行い、事業計画策定時におけるターゲット設定や施設規模等の調査・研究を行うため、宮津満腹祭等において、事業者・来場者アンケートや行動観察調査を実施した。

(3) その他取組

- 近隣の先進地（福知山まちづくり（株））の訪問（開業までのノウハウ等の研究）
- 地域振興拠点への出店希望者・可能性のある事業者への声かけ、意向調査（市内外10社程度）
- 道の駅としての受入機能強化（宮津まごころ市の商品拡充、販促方法、経営革新など）の研究・指導、及びSNSを活用した広報活動
- 会議における議論を広く周知するため、会議所HP内へ報告書を掲載。



(4) 経営マネージャーの募集（宮津商工会議所事業）

<募集内容>

- 募集期間：平成27年5月15日（金）～6月18日（木）
- 募集媒体：マイナビ転職求人サイト
- 募集職種：経営マネージャー
- 募集人員：1名
- 業務内容：①事業戦略等の構築から運営組織の立ち上げなど、地域振興拠点の具体化に向けた業務等
②地域振興拠点開設後の管理・運営等の経営マネジメント業務等
- 求める人材：宮津の活性化に情熱を持って取り組める方

<結果>

- 経営マネージャー募集中も、実証実験を行う中で、来場者や出店者等から“宮津＝海”との声が多く寄せられたため、当初予定していた再開発用地周辺に加え「海側」も検討する必要が生じた。
- これに伴い、公園の活用については、都市公園法などの課題があり、整理までに一定の期間を要することから、経営マネージャー着任後の整備スケジュールが大幅に遅れる可能性が生じ、募集要項に記載のスケジュールに間に合わない可能性が生じたことから、急遽募集を中止することとなり、併せて、プロジェクトチームの発足についても延期した。
- ※報告書において、地域振興拠点の整備に向けて、公共用地（再開発用地、公園）での立地における実現可能性の調査・検討を宮津市へ依頼。

4 報告書以降の今後の方向性について（第11回会議において承認事項）

〔今後の役割分担の整理（宮津まちづくり会議等の役割の整理）〕

＜基本的な考え方＞

- 構想等の取りまとめ、合意形成、進捗把握等 … 宮津まちづくり会議
- 事業化に向けた動き … 事業実施主体（事業者、市民、商工会議所、宮津市等）

〔浜町エリア〕

1 日楽しく過ごすことができる場所を目指し、エリア全体で市内外に向けて宮津の魅力を発信していく、中心市街地の「核（拠点）」として整備を進める。

①地域振興拠点に関するソフト面の調査・検討（担い手確保、コンテンツ開発など）

- 小規模店舗の常設化（取組主体：宮津商工会議所）
 - ・地域振興拠点の実現に向けた第一弾として、小規模店舗の常設化を実施
 - ・取組みやすい再開発用地などを活用するとともに、徐々に海側へ広がりを持たせるなど、スピード感を持って進めていく
- 商品開発等の強化（取組主体：農水商工観連携会議）
 - ・農水商工観連携会議と連携した商品開発や既存商品のブラッシュアップ等を実施

②経営マネージャーを中心とした地域振興拠点の整備計画の検討

- 経営マネージャーの確保（取組主体：宮津商工会議所）
 - ・小規模店舗の運営と、それを踏まえた地域振興拠点の具体化を進めていくために経営マネージャーの確保を再開
 - ※経営マネージャーの詳細役割等については、再度検討。
- 経営マネージャーの受入れに向けた準備・研究（取組主体：宮津商工会議所）

③地域振興拠点の立地場所に係る公共用地での実現可能性の調査・検討及び公共施設（公園、図書館など）の充実・改善に向けた方針の整理（取組主体：宮津市）

〔浜町周辺エリア〕

浜町エリアと連動して賑わいを創出していくエリアとし、特に浜町エリアと宮津駅前エリアを結ぶL字型ゾーンをリード地域に設定し、賑わいづくりに重点的に取組んでいく。

①報告書の取組事業（案）の検討・事業化

- 具体の事業展開に向けた深堀（取組主体：宮津まちづくり会議・宮津商工会議所等）
 - ・報告書の内容をもとに、商店街など関係事業者と検討を行い、具体の事業展開の道筋を模索

②担い手の育成確保への検討

- 人材育成や、地域を牽引し行動する組織（地域リーダー）の検討（取組主体：宮津まちづくり会議・宮津商工会議所等）
 - ・まちぐるみで取組みを実行していくための仕組みを検討

平成 28 年度 宮津まちづくり会議 事業計画について

1 事業の目的

昨年度、当会において取りまとめられた「浜町エリア及びその周辺エリアの活性化に向けて」報告書（以下「報告書」とする。）の取組み事業（案）を基に、関係者とさらなる検討を加え、各事業の事業化・具体化を促進し、フォローアップや進捗把握等を行っていく。

〔当会の役割〕 構想等の取りまとめ、合意形成、進捗把握等

2 事業の内容**（1）会議の開催**

報告書に掲載されている事業の総合的な進捗管理や、事業の推進等を行う。（浜町エリア：中心市街地の「核（拠点）」、浜町周辺エリア：浜町エリア～宮津駅前エリアを結ぶL字型ゾーンをリード地域）

（2）浜町エリアの検討**①地域振興拠点の実現に向けた検討**

○道の駅を中心としている地域振興拠点の開設に向けて、「海の京都の台所」のコンセプトを基に、実現に向けた手法の検討を行い、今年度の事業化を促進する。

②道の駅機能の強化

○昨年 11 月に宮津市観光交流センター・宮津まごころ市周辺が「道の駅 海の京都宮津」に登録され、来街者が増加していることから、宮津市・農水商工観連携会議等と連携し、道の駅の機能強化（ソフト面）を図る。

（3）浜町周辺エリアの検討**①報告書の内容の深掘、事業展開への協議**

○報告書に掲載されている事業を基に、商店街や市内事業者と企画立案を行い、将来的に商店街や市内事業者の自主的な活動に結び付く土壌づくりを行う。

②担い手の育成確保への検討

○人材育成や地域を牽引し行動する組織（地域リーダー）の検討等、まちぐるみで取り組んでいくための仕組みを検討する。

（4）広報・宣伝に関すること

地域振興拠点実現に向けた検討・進捗状況等を、会議所 HP、SNS 等を活用し、市内外へ積極的な周知を行う。